



6/4 ウェブでの情報発信に向けて ホームページ作成研修会

コミュニティチャレンジ事業として、明峰コミュニティ推進協議会が開催し、40人が参加。同協議会会長の横谷弘務さんは「コミュニティ活動の基盤となる情報発信力を強化し、担い手の育成につなげたい」と話しました。



6/2 梅雨の出水期に備えて 猪名川河川防災ステーションで水防訓練を開催

市職員や消防職員、市消防団員、猪名川河川事務所職員など総勢約80人が参加。増水による河川の越水を防ぐため、土のう約500袋を作成し積んでいく「改良積み土のう工法」が行われました。



6/1 非常時の備えを拡充 「福祉避難所の指定に伴う協定書締結式」を実施

正和会、正心会、盛幸会、友朋会の4つの社会福祉法人と協定を締結。市では初めて民間事業者の施設と福祉避難所の指定に伴う協定を交わしました。今後、指定を行うことで、福祉避難所は合計13施設となります。



6/8 避難訓練コンサート 開館20周年を記念しみつなかホールで開催

今回の訓練は、声楽コンサートの最中に県南部を震源とする震度5強の地震が発生したという想定。来場した観客や出演者ら約150人はシェイクアウト訓練の後、スタッフらの誘導に従い外へ避難しました。



5/17 子どもたちの手でアユの放流 多田小学校近くの河岸で多田漁業協同組合が開催

これは、かつてアユやウナギが生育していた猪名川で、再び当時のような環境を取り戻したいという思いから行われているもの。10³程度の稚魚約5,000匹を、多田小学校3年生の児童が放流しました。



6/8 小学校でプール開き 多田東小学校5年生の児童約100人が初泳ぎ

この日の天候は晴れで、今年初のプールに子どもたちは大はしゃぎ。けのびや水中歩行などで水に慣れた後、今年度の5年生の目標でもある、クロールで25分以上泳げるようになるために練習しました。



6/5 大正時代にタイムスリップ 郷土館で「東谷ズム」を開催

ヒガシタニズム実行委員会が主催で、今回で5回目となります。当日は約1,900人が来場しました。グルメや特産物などが並ぶ「サトヤマルシェ」では、市内のほか近隣市町の洋食屋やカフェなどが自慢のメニューを用意したほか、工芸品なども販売。また、ピアノの祖先といわれる「ハンマードルシマー」の演奏や、開催地である東谷の歴史を伝える「東谷歴史講談」などが催されました。



6/10 ホタルの乱舞 市内各地で6月中旬ごろがピーク

撮影地は市北部の国崎地区周辺。午後7時半過ぎになると河原に生えたヨシなどに隠れていたホタルが舞い始め、9時半ごろにかけて、200頭ほどが求愛のダンスを踊っていました。ゲンジボタルは、比較的大きなホタルで、黄緑色に発光する。発光は求愛のために行われるといわれ、市内では同地区のほか、黒川や芋生地区などでも見ることができ、毎年多くの人を訪れます。



6/16 アジサイが見ごろ “あじさい寺”の愛称で親しまれる頼光寺で

約500株のアジサイが美しい同寺。境内には、市民らが訪れ、撮影などを楽しんでいました。今年は、例年通りの開花で7月上旬ごろまで見ごろが続きます。アジサイが一番生き生きとするのは早朝で、ベテランの写真家などは、午前5～6時ごろには写真撮影に動んでいるという。同寺で栽培されるアジサイは主に「西洋あじさい」。「おたふく」や「隅田の花火」なども栽培されています。



6/13 子どもたちが田植え 能勢電鉄「滝山」駅近くの水田で実施

川西北幼稚園の5歳児クラスの園児31人と、川西北小学校の5年生49人が訪れ、泥にまみれながら田植え体験をしました。収穫までの水入れ、草引き、稲刈り、脱穀といった育成作業に子どもたちが関わり、9月中旬には約30³の米が収穫できる見込み。収穫後は、同園で催される「おにぎりパーティー」や同小学校の自然学校で飯ごう炊さんの食材となる予定です。